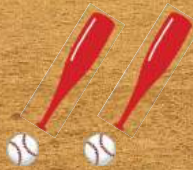


優勝決定



●特集
第42回タイ国日本人会ソフトボール大会

一般リーグ優勝
丸紅



一般リーグ決勝戦
丸紅 VS ソムタムズ



選抜リーグ優勝
ボンバーズ

選抜リーグ決勝戦
ボンバーズ VS SPIDER

選抜リーグ

優勝：ボンバーズ

準優勝：SPIDER

第3位：三井物産

第4位：アパッチ

■最優秀選手

鈴木善雄選手(ボンバーズ)

■ホームラン王

畔柳洋志選手(アパッチ)

一般リーグ

優勝：丸紅

準優勝：ソムタムズ

第3位：ゼロファイターズ

第4位：シーナカリンレッズ

■最優秀選手

鈴木竜大選手(丸紅)

■ホームラン王

高瀬 健選手(WISH)

増田憲一選手(東レラッキーズ)

今年は例年より約1ヵ月早く6月3日(日)に開幕した第42回タイ国日本人会ソフトボール大会。3ヵ月にわたり、毎週日曜日、日本人学校のグラウンドで熱い試合が繰り広げられ、8月26日(日)に決勝戦が行われました。今年の優勝は、接戦の末、選抜リーグはボンバーズ、一般リーグは丸紅が獲得しました！

最優秀選手

選抜リーグ 鈴木善雄選手(ボンバーズ)



一般リーグ 鈴木竜大選手(丸紅)



ホームラン王

選抜リーグ 畔柳洋志選手(アパッチ)



一般リーグ 高瀬 健選手(WISH)



一般リーグ 増田憲一選手(東レラッキーズ)



選抜リーグ優勝
ボンバーズ



選抜リーグ準優勝
SPIDER



ナイスゲーム!!!!!!

最終回の裏の守り、ツーアウトでランナーがおり一打同点……ベンチから見ているだけでも本当にハラハラドキドキ。まるで野球漫画を見ているようでした。



8月26日の決勝戦、あそこまで痺れるような試合展開は本当に久しぶりでした。

まさに手に汗握る熱戦とはこのことか、と試合中から感じておりました。私自身は負傷により途中交代を余儀なくされましたが、最終回の裏の守り、ツーアウトでランナーがおり、一打同点、最悪の場合、逆転サヨナラとなってしまう場面で、ベンチから見ているだけでも本当にハラハラドキドキでした。まるで野球漫画を見ているようでした。

最終的に、タイ国日本人会ソフトボール大会2年ぶりの栄光を勝ち取ることができた時の喜びは言葉では簡単に言い表せません。

今大会、予選を4勝1敗、勝ち点12の2位で勝ち上がり、はたから見れば順当に勝ち上がったように見えたかもしれませ

が、実情はそうではありませんでした。

私が伝統あるボンバーズの主将を引き継いだ昨年10月以降、前主将含めて、主力メンバーの本帰国が相次ぎ、大幅な戦力ダウンとなり、今大会の予選のある試合では参加可能メンバー不足により、一時は不戦敗まで考えたほどでした。

また、今大会を最後に帰国するメンバーもおり、今後のボンバーズの在り方を考えた時に、ベテランのメンバーでさえ、他チームとの合併という考えが頭をよぎったほどの状況でした。その様な中で「ふんどしを締め直してメンバー募集をなささい！」という事で叱咤激励していただいたのが、常勝ボンバーズを創成期から支えてきてくださった、重鎮・横松さん、青山さんでした。

お二方のご尽力もあり、予選



途中より複数の新メンバーが加わってくれたことで、ベテラン・中堅・新メンバーと戦力が整ってチーム一丸となったことが本当に大きかったと思います。お二方には感謝してもしきれません。

今大会を最後に、数年間不動のエースであったメンバーが本帰国となってしまうますが、常勝ボンバーズの魂をメンバーそれぞれが胸に、今後も勝ち続けます。

最後になりましたが、今大会に於きましても、とても丁寧な運営をしていただき、大会を盛り上げてくださった日本人会及び事務局の方々、日本人学校関係者、全てのメンバーとその家族の皆様、そしていつも陰ながら応援してくれるボンバーズ江波監督（浪花・博多）には改めて深く御礼申し上げる次第で御座います。

最後まで貫いた「全員野球」で 掴んだ、久しぶりの優勝。

点を取られたら更に取り返す、今季の西武ライオンズのような試合運びをすることができ、準決勝もサヨナラ勝ちと、劇的な試合で勝ち進むことが出来ました

遂に、一般リーグ制覇。先代の監督から引き継いだ「全員野球」を胸に、約5年振りの優勝を果たすことが出来ました。

当チームは丸紅タイランドが中心となり、メンバーを構成しておりますが、50パーセントほどは企業体に関係なく、また経験者、未経験者問わず、ソフトボールを楽しみたい人の集まりです。

私自身は丸紅に加入して2年になりますが、監督就任後では初シーズン。前監督時代から、多くの中心メンバーが日本へ帰



国し、新メンバーを加えてのシーズン開幕となりました。

いきなり想定外だったのは、キャッチャーのオフシーズン中の怪我・手術、エースピッチャー（中学生）の不在です。

キャッチャーは、リハビリ期間がシーズンと重なったものの、最終戦に何とか間に合い、またエースピッチャーは学業との両立から、中々登板が叶いませんでしたが、登板試合には力投してくれました。

それ以外にも、毎回試合成立ギリギリの10人前後の参加者となり、交代要員もいない中で大人たちの体力的には苦しい戦いでした。

そんな中でも、急造バッテリーを含め、慣れないポジションで毎試合楽しみながらプレーしたメンバーたちのお陰で、点を取られたら更に取り返す、今

季の西武ライオンズのような試合運びをすることができ、準決勝もサヨナラ勝ちと、劇的な試合で勝ち進むことが出来ました。

私自身は、前監督から声をかけられ、何が何やら分からない状況で、ソフトボール大会へ参加し始めましたが、今ではソフトボールシーズンが楽しみで仕方ありません。

メンバーの中にも「タイ生活が一番楽しいのはソフトボールです！ 良いチームです」と言ってくれる人もおり、こう言われると監督冥利に尽きます。

優勝時には久しぶりに全員で大きな感動を味わいました。今回優勝させていただいたことで、翌シーズンより選抜リーグ昇格と聞いておりますが、今まで全員野球で楽しく笑い合いながら試合をしており、選抜リー



グでは注意されないかが一番不安ですが、我々のチームカラーですので、皆様どうかご容赦ください。

最後に、忙しい中、時間を調整し参加してくれた選手、応援してくれた関係者、ご家族、また素晴らしい大会運営を行っていただいております日本人会の皆様、競技委員の皆様、心より感謝申し上げます。また来年もよろしくお願い致します。

一般リーグ優勝
丸紅



一般リーグ準優勝
ソムタムズ

